

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童・生徒に関する実態調査」

I 学習面での様子についてお答えください。(A)

(0:ない、1:まれにある、2:ときどきある、3:よくある、の4段階で回答)

1 「聞く」	(1) 聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き間違える)	0-1-2-3
	(2) 聞きもらしがある	0-1-2-3
	(3) 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	0-1-2-3
	(4) 指示の理解が難しい	0-1-2-3
	(5) 話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)	0-1-2-3
2 「話す」	(6) 適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口である)	0-1-2-3
	(7) ことばにつまったりする	0-1-2-3
	(8) 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	0-1-2-3
	(9) 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	0-1-2-3
	(10) 内容をわかりやすく伝えることが難しい	0-1-2-3
3 「読む」	(11) 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える	0-1-2-3
	(12) 文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする	0-1-2-3
	(13) 音読が遅い	0-1-2-3
	(14) 勝手読みがある(「いきました」を「いました」と読む)	0-1-2-3
	(15) 文章の要点を正しく読みとることが難しい	0-1-2-3
4 「書く」	(16) 読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない)	0-1-2-3
	(17) 独特の筆順で書く	0-1-2-3
	(18) 漢字の細かい部分を書き間違える	0-1-2-3
	(19) 句読点が抜けたり、正しく打つことができない	0-1-2-3
	(20) 限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない	0-1-2-3
5 「計算する」	(21) 学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい(三千四十七を300047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている)	0-1-2-3
	(22) 簡単な計算が暗算でできない	0-1-2-3
	(23) 計算をするのにとても時間がかかる	0-1-2-3
	(24) 答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい(四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算)	0-1-2-3
	(25) 学年相応の文章題を解くのが難しい	0-1-2-3
6 「推論する」	(26) 学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較。「15cmは150mm」ということ)	0-1-2-3
	(27) 学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図)	0-1-2-3
	(28) 事物の因果関係を理解することが難しい	0-1-2-3
	(29) 目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい	0-1-2-3
	(30) 早合点や、飛躍した考えをする	0-1-2-3